

# 変化は可能です。

池住さんは、NGOのリーダーとしてアジアで30年間、活動を続けてきました。新しい県政実現の先頭にたってほしいという多くの県民の声に、「私が愛知県と日本を変えてい

く。これがアジアの人たちへの恩返し、責任だと考えた」と池住さん。そして「自分のやりたいという気持ちに誠実になろう」と、県政転換の先頭にたつ決意を固めました。



## 池住よしのり メッセージ 12月25日の集会で訴え

### 7つの基本方針

#### 1 県政の“しくみ”を変えよう

お金の使い方を変えるためには、事業決定のプロセス、しくみを変えなければなりません。県民参加・ガラス張りの県政が必要です。

#### 2 若者に愛知の未来を託し、希望もてる愛知県に変えよう

#### 3 愛知県を平和の発信拠点にしよう

「平和」の問題は、最も強い気持ちをもっています。私は、県民の生活と地方自治をおびやかす「有事法制」に反対です。

#### 4 地方自治を確立し地域振興を進めよう

#### 5 環境都市「愛知」をめざそう

#### 6 すべての人の人権を大切にす県にしよう

愛知が変われば日本が変わる。日本が変われば世界が動きます

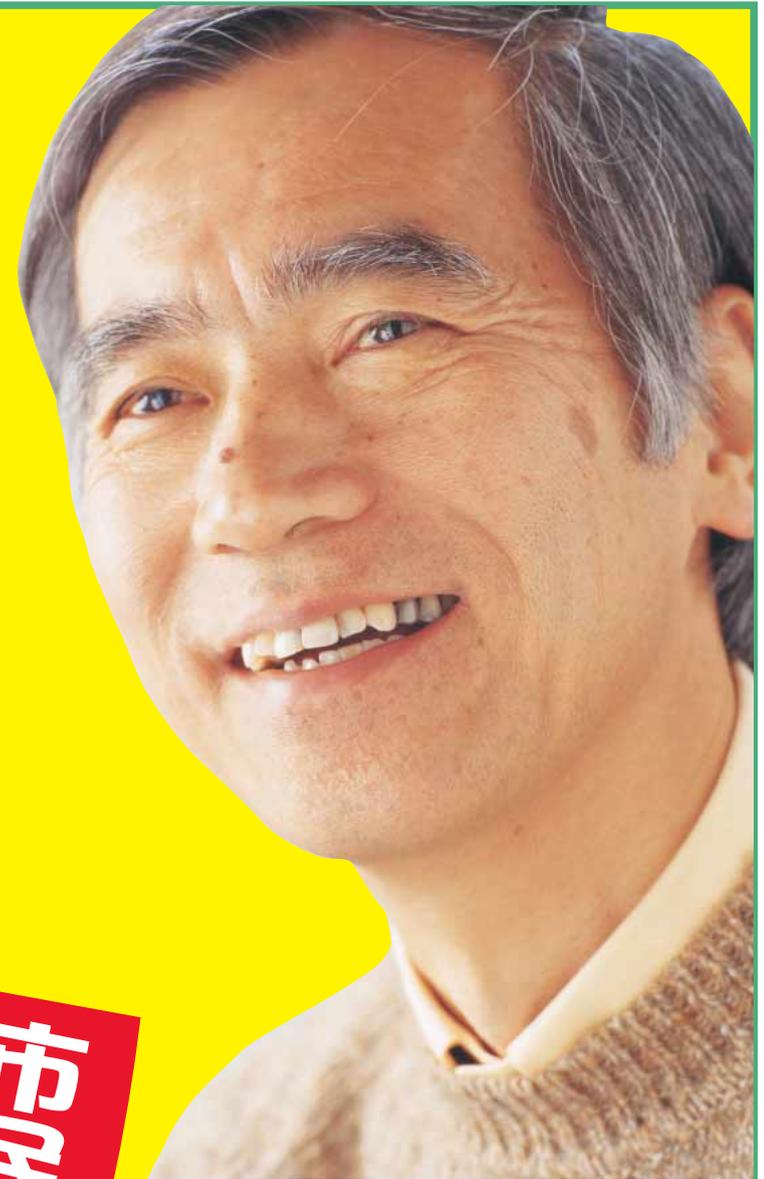
# みんなで一緒に変えましょう

池住さんは「愛知万博の中止・返上」を約束しています。方針は私たちと基本的に一致し、人柄も信頼できる池住さんを支持します。「革新県政の会」の訴えを紹介します。

# 池住よしのりさん

人を大切にしたい県政を

市民派・無党派



### 池住 義憲 (いけずみ よしのり)

- 1944年 東京に生まれる
- 1967年 立教大学卒業 (経済学部経済学科)
- 1967年 財団法人東京キリスト教青年会 (東京YMCA) 勤務 (~1980)
- 1975年 3月~6月東京YMCAベトナム難民救済復興協力事業にワールドサービスワーカーとして当時の南ベトナム・サイゴンに赴任
- 1982年 フィリピン国立大学大学院「地域開発」修士課程修了 (~1984)
- 1980年 財団法人アジア保健研修財団(AHI)勤務(~1997年)
- 1997年 国際民衆保健協議会(IPHC)日本連絡事務所代表

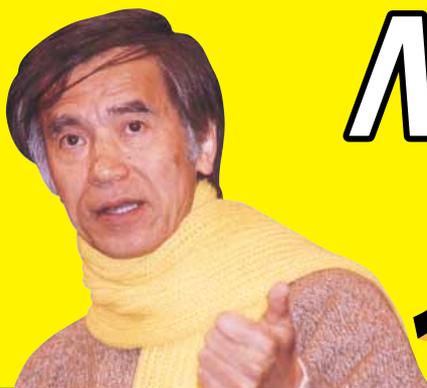
すべての人は豊かな経験、知識、技術、アイデア、そしてパワーを持っている——いけずみよしのり

## みんなの県政

2003年1月 革新県政の会

くらし・教育・平和をまもる清潔な革新県政をつくる会  
名古屋市北区柳原3丁目7-8  
TEL052-916-2148 FAX052-916-4189  
Eメール: mail-aichi@kakusin.jp

# NGO活動で学んだ 人間優先の社会



— NGO（非政府組織）では、どのような仕事を？

池住 アジアの農山村や漁村で、健康やまちづくりなど、地域を住民自身の手でつくっていく、その中心的な人材を育てるのが仕事でした。

ベトナムでの

体験から…

— この仕事のきつかけは、何だったのですか。

池住 原点はベトナム戦争です。七四、七五年に、難民救済復興事業で、当時の南ベトナム・サイゴンで活動しました。目の前で起きていたことは、アメリカなどの大国の思惑で、一つの民族が分断させられて、命を奪い合う、不幸な戦争でした。「何でベトナム人同

ともに、歩いていきたい

— みんなと一緒に考え、一緒に歩く姿勢をつらぬいておられますね。

池住 研修では、対話でお互いの豊かな部分を引き出してゆくのです。一九八六年にインドの農村で活動しましたが、住民の指導者がこんな話

士が殺し合うのか、何がそうさせているのか——、この経験が私の原点です。それ以来、アジアの民衆と一緒に歩む生き方をした、と。三十六歳の時です。

をしてくれました。「私の前を歩かないでください。私はあなたに引つ張られたくありません」

「私の後ろを歩かないでください。私はあなたに押されたくありません」  
「ただ、私の横にいてください。そして、人生と

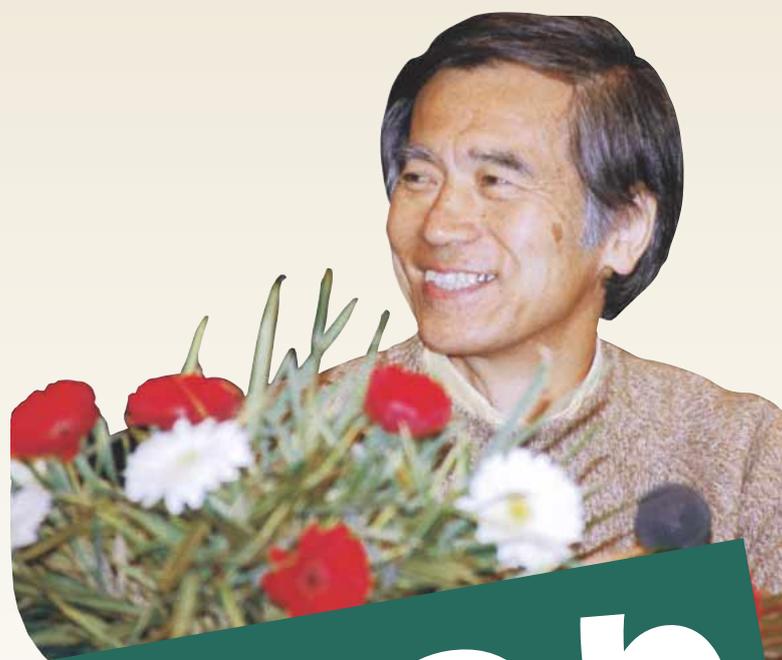
いう長い旅を共に歩んでいきましょう」。ともに歩む人、——ファシリテーターと言います。愛知県を、一緒にいるんな人たちの知恵と力を重ね合わせながら、ともに歩いていきたいですね。

ライフワークは  
平和です

— 最後に、池住さんの最終目標は？

池住 一言でいえば平和です。それは「すべての人が、米を等しく食する状態」ということです。

今は、愛知も日本も世界も、そういう状況になっていない。  
(十二月二十五日にインタビュー)



## 池住よしのりの インタビュー

市民派、無党派として愛知県知事選挙に立候補の決意をされた池住さんに話を伺いました。

# 愛知万博は中止できません

## 大型公共事業見直しは全国の流れ

### 人権も安全も無視の

### 愛知県の養護学校

大型開発優先で、福祉、教育、防災、雇用と、県 民生活があらゆる分野で犠牲にされています。



車イスを同時に2台。安全も健康も無視されている

愛知の養護学校（知的障害者）のマンモスぶり、全国ワースト10のなかに六校も。しかもワースト4のすべてが愛知です。廊下に仮設トイレを置いて用を足したり、先生が車椅子を同時に二台動かすような実態で、人権も安全も、先生の健康も無視されています。

県民一人56万  
円の借金が

神田愛知県知事は、愛知万博・中部新国際空港

など大型開発事業に熱中。県の借金(県債残高)は、ついに四兆一八八億円と、県民一人あたり五十六万円に。神田知事が四年間で増やした借金は八千億円以上に。財政再建のメドはたちません。

くらしは  
充実できる

愛知万博と空港を中止すれば、二〇〇三年度以降だけで少なくとも一一三億円が県負担として節約されます。

これだけで、小・中学校の一年生を三〇人学級にし(六十四億円)、乳



幼児医療を就学前まで無料に(四〇億円)、待機者一万人を解決する特別養護老人ホーム建設(二〇〇億円)ができます。さらに、徳山ダム・設楽ダム、第二東名や伊勢湾口道路などの大型事業をやめれば、数千億円を節約できます。

その財源で、福祉を充実させ、子育て支援や教育、中小企業支援、雇用の促進、環境対策の強化など、県民の切実な要求が実現します。